



遊具で大けが！ 注意して遊びましょう

事例 1

滑り台の柵を乗り越えて遊んでいたところ、高さ3メートルから墜落して救急搬送された。胸部と背部を骨折していた。

(当事者：7歳 男児)

事例 2

高さ2メートルの雲ていから手を滑らせて左ひじから転落し、はく離骨折した。前日から雨が降っていて、雲ていは濡れていた。

(当事者：6歳 女児)



ひとことアドバイス

- 体を動かして遊ぶことは子どもの心身の発育に重要であり、遊具での遊びもその大切な一部ですが、一方で遊具を使用中に高いところから転落して骨折するなど、重とくな事故が起こっています。子どもが遊具を使っているときは、大人は目を離さないことが大切です。
- 滑り台を反対側から登る、柵を乗り越えるなど、本来の遊び方と違う使い方をさせない、遊具の対象年齢を守るなど、正しい使い方を子どもに教えましょう。
- 屋外の遊具では、夏には表面の温度が非常に高くなったり、雨に濡れた場合は滑りやすくなったりするものもあります。天候にも注意しましょう。
- 遊具の不具合や破損を見つけたら、使用しないで管理者に連絡しましょう。

さぼーとくん

